

2026.3.21.

# NPOフォーラム だより No.121



NPO法人安房文化遺産フォーラム (共同代表：愛沢伸雄, 池田恵美子)

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX：0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト https://awa-ecom.jp/bunka-isan/

会員・寄付募集中！ 年会費=正会員 A:10,000 円 (総会議決権あり)・準会員 B:2,000 円・法人 10,000 円  
(ゆうちょ銀行口座：00260-1-97307 名義 NPO法人安房文化遺産フォーラム)

明治期から米国モンレーで活躍した小谷源之助・仲治郎兄弟とアワビ漁師らの歴史を調査し、当 NPO では 20 年以上にわたる日米交流を続けてきました。今年度は文化庁事業の一環として、和歌山県立近代美術館・太地町歴史資料室・全米日系人博物館などとともに【和歌山の移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会】に参画し、移民史・美術史・水産史をめぐる合同調査に取り組みました。詳細は中面の報告をご覧ください。

## ◆ 第 91 回知恵袋講座「能登七尾・モンレー友好と震災復旧の報告」 by 池田恵美子

4 月 18 日 (土) 13:30~16:00 菜の花ホール 参加費：会員 200 円/非会員 500 円 (飲物付)

昨秋に和歌山と安房の実行委員会メンバーがモンレーを訪問する前週、JACL (日系アメリカ人市民同盟) モンレー会館では「NANAO DAY」が開かれました。モンレー市と姉妹都市 30 周年を迎える石川県七尾市では、記念交流事業として親善団 18 名が訪問していたのです。

3/1-2 に七尾市で開かれた「小さいとこサミット」(小規模ミュージアムネットワークの連携交流)に参加した折、七尾モンレー友好協会を表敬訪問しました。姉妹都市提携の 10 年前からモンレーを視察しまちづくりのモデルとして学び、熱心に交流を続け、七尾市のまちづくりに活かしてきました。

また、七尾モンレー友好協会の森山外志夫会長は、経営する七尾自動車学校が 2024 年元旦に起きた能登半島地震の 2 週間後に 4ヶ所の地盤陥没が起き、その復旧工事は、奇しくも「安房大神宮の森コモンプロジェクト」を推進する高田宏臣さんらによる有機土木工法で 1 年 8 ヶ月かけて行われていました。



能登半島と逆さに見る房総半島は形が似ていて、海上交通や隆起など類似の歴史もあるので、これを機にお互いに学び合う交流がまちづくりに活かせたら幸いです。



逆さの房総半島

能登半島



<新刊本>

『未来が変わる！  
土中環境と有機土木』  
高田宏臣 著  
2,500 円(税別)



\* 展覧会「舩う移民——紀州、房州、モンレーを結ぶ海の物語」in 館山 2/5～15

\* シンポジウム「移民がつなぐ太平洋まるごと博物館～紀州と房州とカリフォルニア」2/11

南総文化ホールで開催し、企画展は220名、シンポジウムは180名の参加で大盛況でした。

資料冊子をご希望の方はNPO事務局までご連絡ください。内容は右頁の目次をご参照ください。シンポジウム録画は編集集中のため、追ってお知らせします。

展覧会の様子は、太地町の櫻井敬人学芸員がNPOスタッフ学習会として解説した録画を観ることができます。

(後半は音声小さくなり、やや聞き取りにくいのはご容赦ください。)

<https://youtu.be/NVctCyhxTI4>



房日新聞 2026.2.14.



研究成果を報告する登壇者ら＝館山

研究成果を報告する登壇者ら＝館山  
NPO法人安房文化遺産フォーラムの取り組み。共同で調査研究を進めてきた安房地平洋まるごと博物館、紀州と房州とカリフォルニア「移民がつなぐ太平洋まるごと博物館」が11日、南総文化ホールで開催された。米日系人博物館などが参画する「和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会」の取り組み。米・モンレーに渡った房州のアワビ漁師も昨年からスポットを当てておたゲストハウスは、多作品を残すなど、日米の文化の交流地ともなった。シンポジウムでは、小谷兄弟の渡米の経緯やその背景、兄弟を取り巻く人々といった内容やモンレーを訪れた日本人画家たち、和歌山県からのモンレーへの移民などについて、研究成果が報告された。また、同ホールギャラリーでは、シンポジウムに合わせた展覧会「舩う移民——紀州、房州、モンレーを結ぶ海の物語」も開催中。充実した内容の展示で、来場者らの目を引いている。15日まで、時間は午前10時～午後4時。  
(加藤純一)



明治期に房総、紀伊両半島から米国へ渡った移民の歴史や文化をテーマにした企画展「舩う移民——紀州、房州、モンレーを結ぶ海の物語」が、和歌山県太地町の同町立石垣記念館で開かれている。8日まで。  
和歌山県立近代美術館を中心に、NPO法人安房文化遺産フォーラム(館山市)などが館山市内で先行開催された企画展「舩う移民」の会場。2月14日

# 渡米した移民の歴史

## 館山と和歌山で企画展

参加する移民文化研究事業の成果をまとめたもので、写真やパネルなど計約50点を展示。会場には、漁師の中心となるのは、1897年に根本村(現南房総市白浜町根本)から米国カリフォルニア州モンレーに渡り、アワビ食文化を伝えた小谷源之助、仲治郎兄弟。アワビの缶詰工場を設立するなどして成功した源之助は当地にゲストハウスを建て、和歌山県出身のヘンリー杉本ら多くの芸術家が滞在した。企画展は小谷兄弟の足跡やゲストハウスを訪れた画家たちのエピソードなどをたどる内容となっている。

2月5～15日には館山市内で同じ内容の展示会が先行開催される。会場には、漁師の晴れ着「万祝」を手がける鴨川市の染物店「鈴菜」四代目、鈴木理規さん(35)も姿をみせた。鈴木さんの父幸祐さんはモンレーに「おれはモンレーにいたい」と語った。本人会の依頼を受け、

【岩崎信道】

## 渡米移民の研究成果報告

館山でシンポ 安房、和歌山の関係者ら

日本から米国に渡った移民やそれを巡る美術についてのシンポジウム「移民がつなぐ太平洋まるごと博物館」が紀州と房州とカリフォルニア「移民がつなぐ太平洋まるごと博物館」が11日、南総文化ホールで開催された。共同で調査研究を進めてきた安房地平洋まるごと博物館、紀州と房州とカリフォルニア「移民がつなぐ太平洋まるごと博物館」が11日、南総文化ホールで開催された。米日系人博物館などが参画する「和歌山移民研究を軸とした国際交流事業実行委員会」の取り組み。米・モンレーに渡った房州のアワビ漁師も昨年からスポットを当てておたゲストハウスは、多作品を残すなど、日米の文化の交流地ともなった。シンポジウムでは、小谷兄弟の渡米の経緯やその背景、兄弟を取り巻く人々といった内容やモンレーを訪れた日本人画家たち、和歌山県からのモンレーへの移民などについて、研究成果が報告された。また、同ホールギャラリーでは、シンポジウムに合わせた展覧会「舩う移民——紀州、房州、モンレーを結ぶ海の物語」も開催中。充実した内容の展示で、来場者らの目を引いている。15日まで、時間は午前10時～午後4時。  
(加藤純一)

毎日新聞 千葉版 2026.3.1付



本事業を通して、和歌山県歴史教育者協議会の教員4名はアメリカ研修に参加しています。千葉県歴史教育者協議会安房支部である NPO 法人安房文化遺産フォーラムのメンバーとともに、教育実践や調査、活動の報告と意見交換をおこないました。オンラインと会場で計30人が参加しました。YouTubeで見ることができますので、ぜひご覧ください。



<https://youtu.be/1AX9BxkcEw0>



### <発表:和歌山>

- ① 田城賢司「移民を扱った授業実践を振り返って」
- ② 寺前 駿「移民史と歴史教育を交差する」
- ③ 日野和樹「移民について考える授業実践—アメリカ指導者研修を通じて」
- ④ 山口康平「和歌山での戦跡調査のこれまで」

### <発表:安房>

- ① 池田恵美子「館山まるごと博物館～授業づくりから地域づくりへ」
- ② 山口正明「太平洋をわたった南房総のアワビ漁師たち」
- ③ 鈴木政和「外務省の渡航調査と集落の聞き取りと平和ガイド」
- ④ 愛沢伸雄「金澤屋の小谷兄弟をとりまく人びとと渡米の背景」

### ▶『月刊社会教育』誌 No.838

寄稿「移民がつなぐ太平洋まるごと博物館～紀州と房州とカリフォルニア」(執筆:池田恵美子)が2026年3月号に掲載されました。同封の別紙をご照覧ください。



### ▶ シンポジウム「移民がつなぐ太平洋まるごと博物館」冊子を希望の方は NPO 事務局へご連絡ください。



#### 【目次】

02. 奥村一郎「舫う移民たちの紡ぐ物語へ 挨拶にかえて」
04. ティム・トーマス「モンレー・アワビ物語～太平洋にかかる橋」
06. エヴァン・コダニ「日系四世の回想～先祖の故郷・房州をたずねて」
07. クリステン・ハヤシ「異なる岸辺から見たカリフォルニア海岸」
08. 家系図／年表
12. 大場俊雄「房州からカリフォルニアへ渡ったアワビ潜水夫らを調べに来房したキース・W・コックスとチウラ・Z・オバタ」
16. 櫻井敬人「モンレーの紀州人」
20. 山口正明「太平洋を渡った南房総のアワビ漁師たち」
24. 鈴木政和「外務省の渡航記録調査と集落の聞き取り」
28. 青木加苗「芸術家コロニーのモンレーで日本人画家は何を見たか」
32. 池田恵美子「絵画から読みとく館山まるごと博物館～青木繁と倉田白羊」
34. 粕谷智美「アワビ漁師移民の古文書レスキューと調査活動」
38. 愛沢伸雄「小谷源之助・仲治郎兄弟をとりまく人びとと渡米の背景」
47. ALBUM

## ◎ 旧安房南高校の草刈り

4月4日(土) 9:00~10:30 (雨天は翌日順延)

桜の下で、県指定文化財校舎の環境整備にご協力ください。  
刈払い機や鎌を持参でご集合をお願いします。

よりよい保存活用を求める署名活動も継続しています。

<https://awa-ecom.jp/bunka-isan/15653/>



## ◎ 小原家住宅、TV『プラチナファミリー』で紹介されます！ テレビ朝日 火曜 19時～

NPO 会員の村上吉夫・信子夫妻の自宅は、国登録文化財「小原家住宅」です。幕末に建築、明治期に改築された主屋をはじめ、昭和初期建築の離れ、米蔵・文庫蔵、表門・旧長屋門の6件が登録され、丁寧な造作と勝海舟や副島種臣らの書も多く残されています。江戸期から続く小原家は信子さんの実家で、曾祖父にあたる小原金治は、明治期から県議・衆議院議員を務め、房総遠洋漁業会社や安房銀行の設立にも関わり、関東大震災後には安房震災復興会の会長として貢献しました。孫の小原謹爾は世界的な椿の研究者として知られ、椿の庭園も美しいです。

当主の村上さんは全国のドームを作った建築家です。今回、テレビ朝日の『プラチナファミリー』の取材を受けましたので、放送日は未定ですが、火曜の番組表をチェックし、ぜひご覧ください。なお NPO 安房文化遺産フォーラムの YouTube「たてやま歴史建物探訪」でも紹介しています。



## ◆ 当面のスタディツアーガイドスケジュール

※ 赤山地下壕は11月の一部崩落後から休壕が続いているため、NPOの平和学習は大房岬要塞群を中心に実施しています。見習いスタッフとしての同行も歓迎します！

- 3/28(土) 10:45~16:40 千葉県建築士会 40名：座学・大巖院・小原家住宅・旧安房南高校木造校舎
- 5/7(木) 9:00~15:00 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟千葉県本部 40名：座学・大房岬・四面石塔
- 5/21-22(木金) 横浜市立江田南中学1年 235名：座学・大房岬
- 5/23(土) 10:50~16:00 一橋大学加藤ゼミ 20名：座学・「噫従軍慰安婦」碑・掩体壕・四面石塔

## 千葉県弁護士会の憲法出前講座 主催/平和憲法を守るつどい(第32回安房地域母親大会実行委員会として協働)

終戦の翌年に日本国憲法が公布されてから80年を迎えます。この憲法のおかげで、日本は戦争をすることなく、平和を維持してきました。今、改憲をめぐる動向と問題点を、私たち一人ひとりが学び、考えることが重要です。誰にでも分かりやすく、解説いただける学習会です。予約不要でオンライン視聴もできます。参加費無料。

2026年4月25日(土) 13:20~16:00 館山市コミュニティセンター 第一集会室

講師：植竹和弘氏(千葉県弁護士会・憲法委員会委員長) ⇒ 昨年、平和学習で館山に来てくださった方です。

「憲法を取り巻く情勢と私たちの課題」

13:20~13:30 房州弁で憲法を！第9条

13:30~15:00 第一部：学習会/Q&A

15:10~16:00 第二部：意見交流/これからの活動について



※オンライン視聴希望の方は、こちらからZOOMに接続してください。やむを得ず、配信の不具合により映像や音声の乱れ・中断等が起きた場合はご容赦ください。

<https://x.gd/zoom260425kenpo> ミーティングID：869 7184 1462 パスコード：510312